

## 更新研修【実務者2回目以降】研修カリキュラム

科目名	カリキュラムの要約内容	時間数
介護保険制度及び地域包括システムの今後の課題	介護保険制度の最新の動向や地域包括ケアシステムの構築に向けた現状の取り組みを理解したうえで、今後の地域包括ケアシステムの展開を理解する。 また、地域包括ケアシステムの中で、利用者及びその家族を支援していくに当たって、関連する制度を理解する。	講義 4 時間
リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例	リハビリテーションや福祉用具活用の自己事例を用いて知識及び効果的なケアマネジメント手法を修得する。他の事例に対応できる知識・技術を修得する。	講義 演習 4 時間
社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例	社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する自己事例を用いて演習を行うことにより、利用者が活用することができる制度に関する知識及び関係機関等との連携を踏まえた効果的なケアマネジメント手法を修得する。また演習等で得られた社会資源の活用に向けた関係機関との連携に係る示唆、留意点を踏まえ、他の事例にも対応することができる知識・技術を習得する。	講義 演習 4 時間
入退院時における医療との連携に関する事例	入退院時における医療との連携に関する自己事例を用いて演習を行うことにより、医療との連携を踏まえた効果的なケアマネジメント手法を修得する。演習等で得られた入退院等における医療との連携に係る示唆、留意点を踏まえ他の事例にも対応することができる知識・技術を習得する。	講義 演習 4 時間
看取り等における看護サービス活用に関する事例	看護サービスの活用が必要な自己事例を用いて演習を行うことにより看護サービスの活用に係る示唆、留意点等の知識及び効果的なケアマネジメント手法を修得する。他の事例に対応できる知識・技術を修得する。	講義 演習 4 時間
認知症に関する事例	認知症に関する自己事例を用いて演習を行うことにより認知症に関する知識及び、認知症の要介護者等に有効なサービスを活用した効果的なケアマネジメント手法を修得する。演習で得られた認知症の要介護者等に有効なサービスの活用に係る示唆、留意点を踏まえ他の事例にも対応することができる。	講義 演習 4 時間
家族への支援の視点が必要な事例	家族への支援の視点が必要な自己事例を用いて演習を行うことにより、家族への支援の視点も踏まえた効果的なケアマネジメント手法を修得する。また演習等で得られた家族への支援に係る示唆、留意点を踏まえ、他の事例にも対応することができる知識・技術を習得する。	講義 演習 4 時間
状況に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス）の活用に関する事例	状況に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス）の活用に関する自己事例を用いて演習を行うことにより、介護保険で提供される地域密着型サービス等の活用に係る知識及びマネジメント手法を修得する。	講義 演習 4 時間

※研修では、研修カリキュラムの順番が変わることがありますのでご了承ください。